

長年のステロイド使用後に顔・首・手の強い腫れを経験した成人アトピーの経過 (60 歳女性)

症例 ID：001-60-KMc | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼少期から皮膚の赤みや手、首のかぶれに対して、複数の医療機関で外用薬や内服薬を使用していました。風邪などで内科や耳鼻科も受診し、薬を継続していました。

長年にわたり薬の内容を十分に把握しないまま使用し、顔全体、とくに目の周囲の黒ずみが強くなっていました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から皮膚科、内科、耳鼻科などで外用薬・内服薬を長期間使用し、ステロイドを含む薬剤の使用歴がありました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	数十年にわたる使用歴があります。
中止時期	松本医院で皮膚状態を指摘され、ステロイドを中止しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～成人期	長期使用	皮膚症状や風邪症状に対して外用薬・内服薬を長期間使用しました。
松本医院受診時	治療開始	顔と目周囲の黒ずみを指摘され、漢方治療を開始しました。
開始後 1 週間	初期悪化	額と眉毛の下が赤く腫れ始めました。
開始後約 2 か月	ピーク	顔、耳、首、手が強く腫れ、首を動かすと痛みがあり、発熱もみられました。
その後 6～7 週間	症状の波	一度落ち着いてから再び腫れる状態を繰り返しました。
経過後	回復傾向	目周囲の黒ずみが減り、イヤリングやネックレスを着けても荒れにくくなり、化粧をしなくても外出できる皮膚状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後約 2 か月に、顔、耳、首、手が強く腫れ、首を動かすと痛みがあり、発熱も重なった時期です。

5. 困りごと

- 顔と目の周囲の黒ずみが長く続き、外見上の負担となっていました。
- 顔、耳、首、手の腫れと痛みで、首を動かすことも難しい時期がありました。
- 症状が一度落ち着いた後に再び出る状態を繰り返しました。

6. 経過のまとめ

治療開始後は顔、耳、首、手の強い腫れと発熱を経験し、6～7 週間にわたり症状の波が続きました。

その後は目周囲の黒ずみが減り、装飾品を着けても荒れにくくなり、化粧をしなくても外出できる皮膚状態へ変化しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。